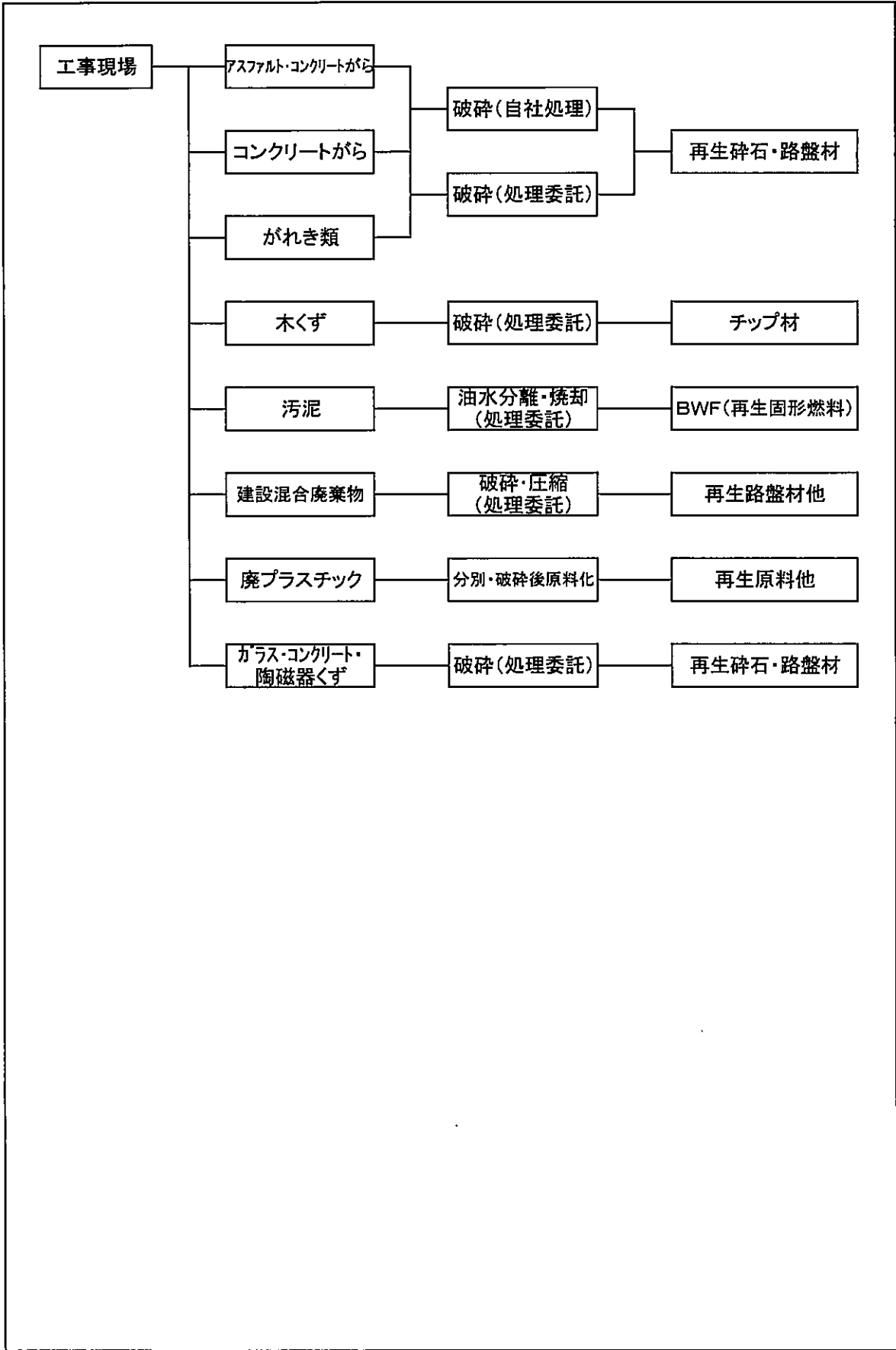


（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和6年5月30日	
千葉県知事 殿	
提出者	
住 所 千葉県千葉市中央区新町1000番地	
氏 名 大成ロテック株式会社 東関東支社	
支社長 浜田 裕	
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）	
電話番号 043-238-6311	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	大成ロテック株式会社 東関東支社
事業場の所在地	千葉県千葉市中央区新町1000番地
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06：総合工事業
②事業の規模	8,900,000千円
③従業員数	108人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添1 処理工程図のとおり

別添 1 処理工程図



(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別添2 管理体制図のとおり

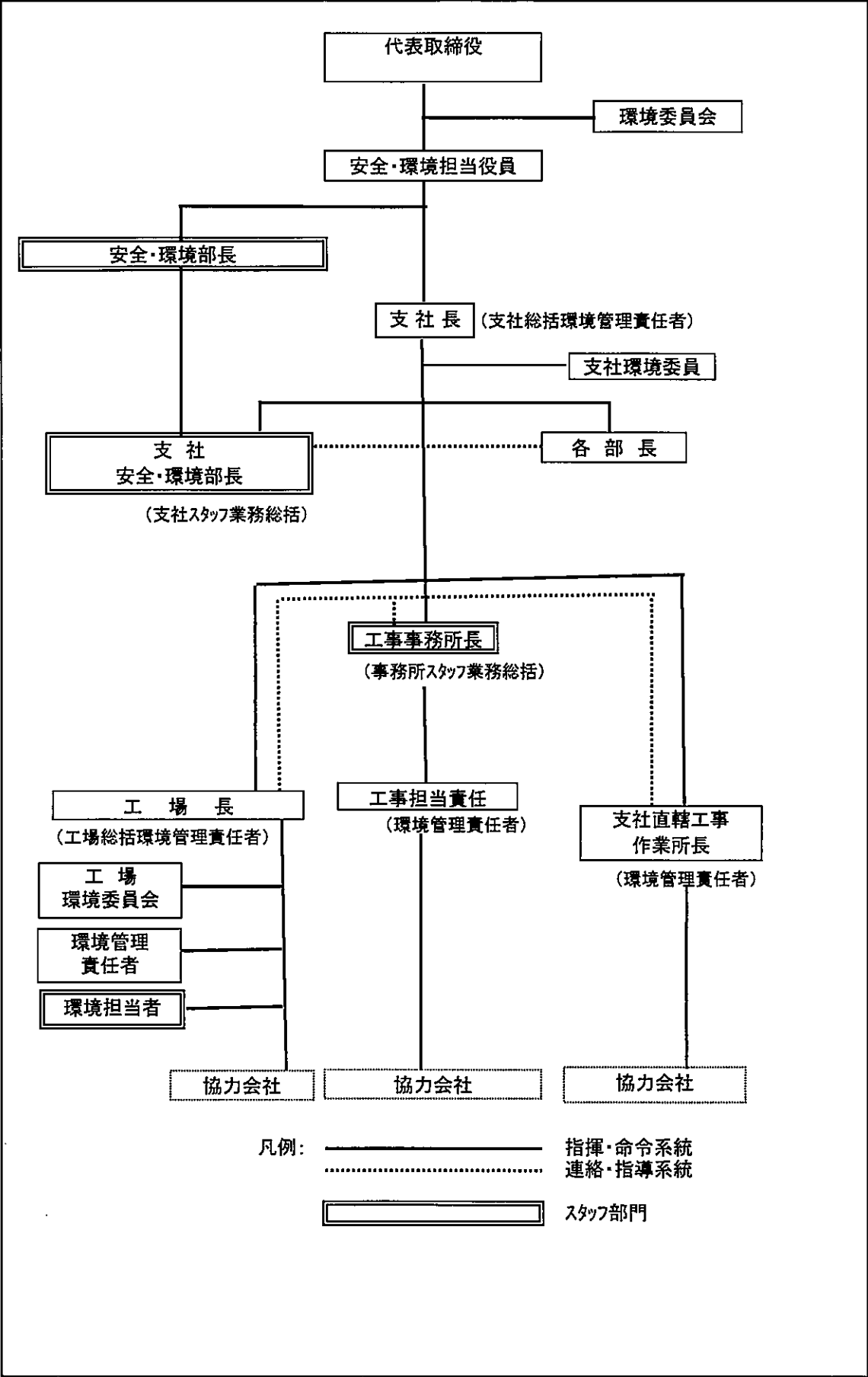
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 発注者と施工計画段階で排出を抑制する工法を協議・検討を行った。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 発注者と施工計画段階で排出を抑制する工法を協議・検討を行う。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) As廃材、Co廃材、プラスチック廃材、可燃物等
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) As廃材、Co廃材、プラスチック廃材、木くず、紙くず等

別添2 管理体制図



自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） アスファルトコンクリートがら、コンクリートがら、がれき類の一部については、自社中間処理場にて破砕し、砕石・路盤材としての再生利用に努めた。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） アスファルトコンクリートがら、コンクリートがら、がれき類の一部については、自社中間処理場にて破砕し、砕石・路盤材としての再生利用に努める。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	— t
③現状	（これまでに実施した取組） これまでに、自社で熱回収を行ったことはない。 アスファルトコンクリートがら、コンクリートがら、がれき類の一部については、自社中間処理場での破砕に努めた。		
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	— t
④計画	（今後実施する予定の取組） 引き続き、熱回収する予定は無い。 アスファルトコンクリートがら、コンクリートがら、がれき類の一部については、自社中間処理場での破砕に努める。		
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	— t

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 引き続き、埋立処分又は海洋投入処分をする予定は無い。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	（これまでに実施した取組） アスファルトコンクリートがら、コンクリートがら、がれき類の一部については自社中間処理場にて破碎し、砕石・路盤材として再生利用し、その他の廃棄物についてはすべて再生利用業者へ処理委託しました。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) アスファルトコンクリートがら、コンクリートがら、がれき類の一部については自社中間処理場にて破砕し、碎石・路盤材として再生利用し、その他の廃棄物についてはすべて再生利用業者へ処理委託に努める。		
※事務処理欄			

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項											
①現状	〔前年度（令和5年度）実績〕										
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	燃焼混合廃棄物（管理型）
	排 出 量	0.96 t	1.89 t	4.20 t	3.60 t	787.33 t	1.80 t	29.00 t	1,755.00 t	408.00 t	27.43 t
②計画	〔目標〕										
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	燃焼混合廃棄物（管理型）
	排 出 量	0.86 t	1.70 t	3.78 t	3.24 t	708.60 t	1.62 t	26.10 t	1,579.50 t	367.20 t	24.69 t

[illegible][illegible]

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。